

静岡県におけるショウドウツバメおよびコシアカツバメの越冬記録

二木務¹・神谷芳郎²

1. 〒410-0035 静岡県沼津市山王台12-16

2. 〒410-0011 静岡県沼津市岡宮533-13

ショウドウツバメ *Riparia riparia* は、日本では北海道および本州北部で繁殖する夏鳥であり(清棲 1978)、冬期の記録は稀で、わずかに1964年12月の宮崎県、1985年12月から1986年1月の沖縄県石垣島での記録が知られている(Brazil 1991)。また、コシアカツバメ *Hirundo daurica* は、本州・四国・九州などで繁殖し(清棲 1978)、冬期については、与那国島から兵庫県までの西日本もしくは西南日本から少数個体の越冬記録が何例か報告されている(Brazil 1991)。筆者らは、1999年12月から2000年2月までのあいだに、静岡県で両種を含むツバメ類の混群の越冬を観察したので報告する。

観察地は、静岡県沼津市内の狩野川河川敷(35°06'N, 138°52'E)で、広い所で幅約100m程の水流の右岸には1ha前後の小規模なヨシ原があり、左岸は人工的に整備されて遊歩道や芝生となっている。河川敷の両側には堤防があり、その外側は市街地である。観察は、おもに左岸の堤防上から、10倍もしくは15倍の双眼鏡または30倍の望遠鏡をもちいて1999年12月29日から2000年3月4日までに計17回行ない、このうち計13回において両種のいずれかまたは両方が確認された(表1)。ショウドウツバメ・コシアカツバメとも初認は1999年12月29日

表1. 観察されたツバメ類の個体数

Table 1. Number of swallows observed at the Kano River, central Japan.

	ショウドウツバメ <i>Riparia riparia</i>	コシアカツバメ <i>Hirundo daurica</i>	ツバメ <i>H. rustica</i>	イワツバメ <i>Delichon urbica</i>	ヒメアマツバメ <i>Apus affinis</i>
29 Dec. 1999	1	1	4	0	0
01 Jan. 2000	0	0	0	0	0
08 Jan. 2000	0	0	0	0	100-
15 Jan. 2000	0	0	0	0	0
22 Jan. 2000	0	1	7	0	0
23 Jan. 2000	1	2	14	1	0
24 Jan. 2000	1	2	14	1	0
29 Jan. 2000	1	3	2	20-	10+
30 Jan. 2000	2	5	10+	0	30±
31 Jan. 2000	0	1	2	0	0
05 Feb. 2000	1	2	5±	10±	100-
06 Feb. 2000	2	4	15	0	0
11 Feb. 2000	2	0	7	0	100±
13 Feb. 2000	1	2	10-	5±	100±
19 Feb. 2000	2	0	10-	20-	120+
26 Feb. 2000	2	0	12+	10+	100+
04 Mar. 2000	0	0	0	0	0

2000年11月29日 受理

キーワード：越冬記録, コシアカツバメ, ショウドウツバメ

で、終認は、ショウドウツバメが2000年2月26日、コシアカツバメが同2月13日であった。両種とも、ツバメ *H. rustica* (最大時15個体)、イワツバメ *Delichon urbica* (最大時20個体以上)と緩い混群を形成し、付近に集団繁殖地のあるヒメアマツバメ *Apus affinis* (最大時120個体以上)とともに河川敷上を群飛しているところを観察することが多く、個体数を正確に把握することに困難があったが、少なくとも同時にみられた羽数はショウドウツバメで2、コシアカツバメで5が最大であった。

引用文献

清棲幸保. 1978. 日本鳥類大図鑑. 講談社, 東京.

Brazil, M.A. 1991. The Birds of Japan. Smithsonian Institution Press, Washington, D.C.

A winter record of Sand Martin and Red-rumped Swallow in Shizuoka Prefecture

Tsutomu Futagi¹ & Yoshiro Kamiya²

1. 12-16 Sannoudai Numazu, Shizuoka 410-0035, Japan

2. 533-13 Okanomiya, Numazu, Shizuoka 410-0011, Japan

A wintering flock of Sand Martins *Riparia riparia* and Red-rumped Swallows *Hirundo daurica* was observed from late December 1999 to late February 2000 by the Kano River in Shizuoka Prefecture. They sometimes formed a mixed species flock with Barn Swallows *H. rustica*, House Martins *Delichon urbica* and Little Swifts *Apus affinis*. This is a rare wintering record for central Japan.

Key words : *Hirundo daurica*, *Shizuoka Prefecture*, *Riparia riparia*, *wintering record*